

サンクレスト

Cu+ブロックが新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)に対する短時間での不活化効果を示すことを確認

株式会社サンクレストは、公立大学法人奈良県立医科大学及び一般社団法人MBTコンソーシアム(細井裕司理事長)協力のもと、Cu+ブロックスプレーが新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)に対して1分間で99.99%以上、1週間後でも99.99%以上不活化※に効果があることを確認しました。

Cu+ブロックの新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)への不活化効果を検証

『Cu+ブロック』について、奈良県立医科大学の試験にて、新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)への不活化効果の検証を行いました。

<試験内容>

■試験1. 試験菌懸濁法

- ・ EN14476：2013を参考に、次の手順で抗ウイルス効果を評価した。
- ・ 消毒薬：負荷物：ウイルスを8：1：1の割合で混合させた。負荷物には0.03%BSAを用いた。
- ・ 試験品に対してよく攪拌後、1分間静置した。
- ・ 1分後、反応を停止させた。
- ・ 回収液を用いてVeroE6/TMPRSS2細胞に感染させ、ウイルス感染価をブランク法にて測定した。

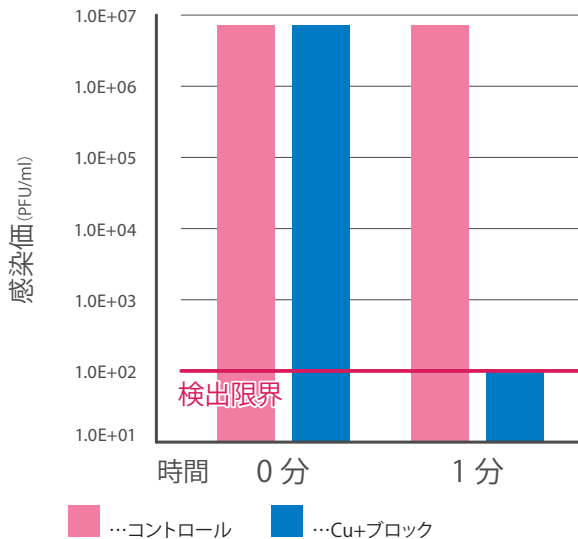
■試験2. 銅含有アルコール含有ステンレス板を用いた試験

- ・ 試験品をステンレス板上にスプレーで200μl 滴下してなじませ、室内で1週間乾燥させ静置した。
- ・ 試験片に新型コロナウイルスを接種し、一定時間静置した。
- ・ 作用時間後、反応を停止させた。
- ・ 回収液を用いてVeroE6/TMPRSS2細胞に感染させ、ウイルス感染価をブランク法にて測定した。

試験1におけるウイルスの不活化効果と減少率

	0分	1分
不活化効果(Mv)	-	4.76
減少率(%)	-	>99.998%

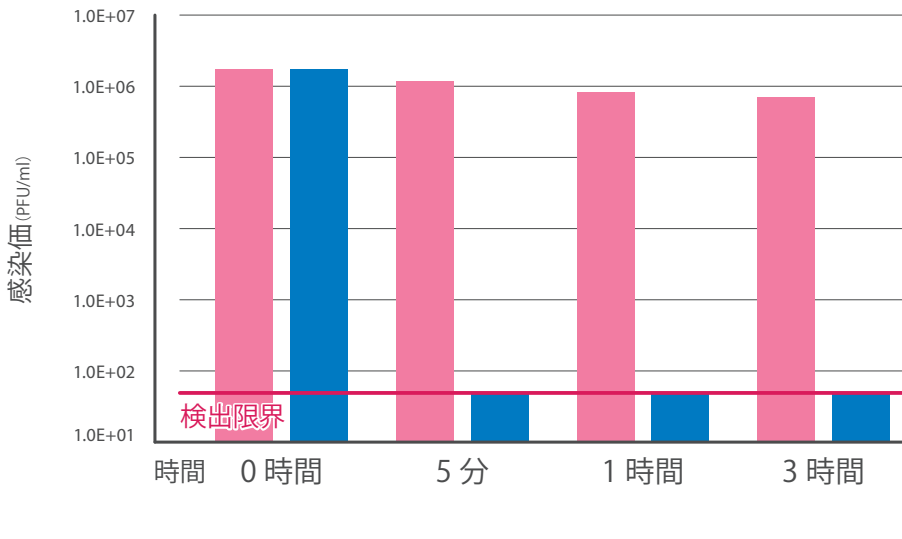
減少率(%)は少数点第4位以下切り捨て



試験2におけるウイルスの不活化効果と減少率

	0時間	5分	1時間	3時間
不活化効果(Mv)	-	4.27	4.22	4.13
減少率(%)	-	>99.994%	>99.994%	>99.992%

減少率(%)は少数点第4位以下切り捨て



なお、本実証は、試験室での評価であり、実使用環境での効果を示すものではありません。また、新型コロナウイルス感染症予防に対する有効性を確認するものではありません。

【本リリースにおける情報の取扱いについて】

本リリースにおいて掲載されているテキスト、技術情報・検証結果等の内容については、無断での転載及び利用は固くお断りしています。また、本リリースが掲載されているウェブページへのリンク表示も固くお断りしています。本リリースについて、転載・利用等を行っているいかなる第三者の表示物及びリンクを表示しているいかなる第三者のウェブサイトについても、当社は一切その第三者の表示物・ウェブサイトについて関知するものではありません。

<お問い合わせ先>

株式会社サンクレスト 広報部 担当：小坂
TEL: 06-6725-5553
E-mail: info@suncrest.co.jp

【※注】

1. 奈良県立医科大学(理事長・学長 細井裕司)：昭和20年4月創立、橿原市
2. MBTコンソーシアム(理事長 細井裕司)：医学的知識をすべての産業に投入してイノベーションを起こすMBT(Medicine-Based Town、医学を基礎とするまちづくり)の理念を達成するために設立された一般社団法人で、現在ほぼすべての業種から170社以上が参加している。
3. ウイルスの不活化：ウイルスの感染性を失わせること